

(3) 自主的・積極的なディスクロージャー

[基本的考え方]

三井住友フィナンシャルグループは、「事業の発展を通じて株主価値の永続的な増大を図る」ことを経営理念の1つとして掲げ、株主価値経営を基軸に据えたコーポレートガバナンス体制をとっております。当社は、企業・経営情報の適切なディスクロージャーをこうした株主価値経営の前提と位置付けております。

また近年、本邦株式市場における海外投資家の比重の増大などに代表されるように、市場によるガバナンスという潮流が加速している下では、株主に限らず様々なステークホルダーへの説明責任(アカウンタビリティ)を全うするために、所謂選択的開示(セレクトティブ・ディスクロージャー)等の問題にも十分に配慮しつつ広範かつ公平な形でディスクロージャーを充実させていくことが、責任ある経営のために必須であると認識しております。

従いまして、銀行法をはじめとした各種法令・規則等に基づいた制度的ディスクロージャーに加えて、お客さま、内外多数の株主、投資家等が、実態を正確に認識・判断できるよう、財務内容、経営方針、業務戦略等に関する自主的ディスクロージャーを充実させることが経営上の最重要課題の一つであると考えております。こうした観点から、「公平」、「適時」、「継続」、「分かり易さ」を原則とした自主的ディスクロージャーの充実に努めていく所存です。加えて、ディスクロージャーを通じた市場との対話・市場の評価を経営にフィードバックすることが、健全なグループ経営推進のためには不可欠であると考え、より重視してまいります。

ディスクロージャーに関するこのような取組みにより、お客さま、株主、投資家等の信頼を高めるとともに、市場の総合的な評価の向上を通じて株主価値を向上させることができるものと考えております。

[具体的方策]

以上のような考え方にに基づき、随時のプレスリリースの他、より分かり易いディスクロージャーを進める観点から四半期毎に作成している小冊子、その他の刊行物を通じて、

また経営トップによる「会社説明会」開催など様々な形で自主的ディスクロージャーの充実に努めております。また、説明会実施後には、動画像と共にその説明資料を速やかにホームページに掲載し、広範かつタイムリーな情報開示を図っております。

加えて、アニュアルレポート、ディスクロージャー誌等の刊行物、および適時開示情報等の記載内容、発行形式等を一段と充実させてまいります。同時に、ホームページを始めとする各種ウェブツールを積極的に活用することで、迅速かつ簡単に、様々な経営・財務情報にアクセス出来るように努めていく所存です。併せて、「公平」「適時」「継続」等の原則遵守を確保するために、グループ内におけるディスクロージャーおよびIR推進体制の一層の整備等も積極的に進めてまいります。